

# 森林資源の循環利用の促進と新たな花粉症対策の推進について

【担当省庁】農林水産省

戦後に造成された人工林の多くが伐採期を迎える中、木材需要増大による森林資源の循環利用を促進するとともに、花粉症対策を一層推進するため、以下の措置を講じていただきたい。

- 木材生産量の増大と花粉発生源となるスギ人工林の植替えの推進を図るため、主伐・再造林一貫作業などの低コスト造林の取組を支援する、花粉発生源特別緊急対策の十分な予算確保
- 木材生産や再造林の効率的な実施に必要な高性能林業機械や資材運搬ドローンなどの導入を促進させるため、林業・木材産業循環成長対策の十分な予算確保及び補助要件の緩和など柔軟な制度運用
- 木材利用を促進するため、林業・木材産業循環成長対策について、木材利用のPRを行う商業施設など非住宅建築物の木造化・木質化への支援拡充及び木材需要量の増加に対応できる加工流通施設整備の支援に対する十分な予算確保

## 【現状・課題等】

### ■木材生産の推進と花粉の少ない苗木への植替え

- ▶ 本府では、安定した府内産木材の供給を図る新たなサプライチェーンの構築に向け、川上から川下までの事業者連携による取り組みを支援するとともに、木材生産性の向上を図るため、再造林を必須として主伐に支援しているところ。
- ▶ 需要に応じた木材生産と花粉の少ない苗木への植替えを進めるには、経営収支をプラスにする必要があり、低コストである、主伐・再造林一貫作業を進めることが重要である。
- ▶ 生産性の向上に資する高性能林業機械の導入に係る国庫事業の補助要件は、年間3,000 m<sup>3</sup>以上の素材生産の実績が必要であるが、木材生産量2,000 m<sup>3</sup>以下の中小規模の林業事業体が約6割を占める本府の実態を踏まえると、現行の補助要件は厳しく、要件の緩和が必要である。

|               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 京 都 府<br>の担当課 | 農林水産部 林業振興課(075-414-5006) |
|---------------|---------------------------|

## ■木材の利用促進

- ▶ 木材の更なる利用促進のため、商業施設・オフィス等の民間の非住宅建築物での利用を進めるとともに、花粉症対策等で増加する木材流通量や新たな大口の木材需要に対応できるよう、府内の脆弱な木材加工流通体制を強化することが必要である。
- ▶ 民間での木材利用に対しては、先駆的な製品や工法に係る調査・実証等といったモデル的な取組に限定せず、利用者が多く PR 効果の高い施設も支援の対象に含めることが重要である。

## 【国の事業等】

### ■概算要求〔農林水産省〕

- ▶ **花粉発生源特別緊急対策 森林整備事業 150,002 百万円の内数**  
花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、森林吸収減の機能強化・国土強靱化に向けて、間伐、主伐後の再造林等を推進
- ▶ **花粉発生源対策促進事業 農山漁村地域整備交付金 92,091 百万円の内数**  
花粉の少ない森林への転換を目的として、花粉発生源となっているスギ及びヒノキ人工林を対象に、花粉症対策苗木等による植替えを支援
- ▶ **林業・木材産業循環成長対策 22,150 百万円**  
高性能林業機械の導入や木材加工流通施設の整備等、川上から川下までの取組を総合的に支援
- ▶ **木材需要の創出・輸出力強化対策 22,150 百万円の内数**  
非住宅建築物等の木造化・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用、木材製品の輸出の推進等による木材需要の拡大を支援

## 【京都府の取組】

### ■林業事業体木材生産力向上支援事業 (令和5年度予算 32 百万円)

木材生産性の向上をとまなう主伐の伐採・集積に要する経費を支援

### ■京の木生産の森再生事業 (令和5年度予算 31 百万円)

皆伐・再造林による森林資源の循環利用による森林整備が確実に推進されるよう、再造林経費の他、保育経費、植栽木の鳥獣被害防止施設の設置にかかる経費を支援

### ■ひろがる京の木整備事業 (令和5年度予算 119 百万円)

民間の商業施設や福祉施設、住宅などにおいて、府内産木材を利用した木造化や木質化、木製品の導入等を支援